

2020 IMP Kart Raceサポートレース(エキシビションレース)規則書

○概要

2020年のIMPカートレースのサポートレースとして、エンジン何でもあり周回ハンディ付きスプリントレースを開催します。

個人毎にタイムハンディや周回ハンディがあるので、タイムが遅い方(車両)でも公平に争えるチャンスがあります。

今回から、エンジンに関係なく、個人の実力に合わせたハンディと、決勝時のペナルティを追加しました。

賞典もあり、エントリー費も格安の 2.000 円～です。

是非皆さんのエントリーお待ちしております。

○開催日時

●開催場所 : 井頭モーターパーク レーシングコース(620m)

●開催日 : 2020 IMP Kart Race で併催(日程は別途、2020 IMP Kart Race 規則書参照の事)

○参加基準

●参加できる車両は、排気量が 2stは 50cc 以上、4stは 100cc 以上(上限なし) に限ります。

●全車両の装着タイヤ及び総重量は自由としハンディは設けません。

●全車両、フロントカウル、サイドカウル、リアバンパー、チェーンガード等の安全部品は必須です。(詳細は 2020 IMP Kart Race 規則書で確認して下さい。)

○参加料金

●マイカートで Race に参加されている方の内マイカートで参加する場合:2000 円(保険込み)

●レンタルカートで Race に参加されていない全ての方がレンタルカートで参加する場合:5000 円(GX200)、6000 円(KX21)、8,000 円(KT100、EK100 など)

●スポーツ走行のみの方の内マイカートで参加する場合:3000 円(保険込み)

●レンタルカートで Race に参加されている方の内レンタルカートで参加する場合:3000 円(GX200)、4000 円(KX21)、6,000 円(KT100、EK100 など)

●レンタルカートで Race に参加されている方の内マイカートで参加する場合:2000 円

●スポーツ走行をしない方、及び Race 不参加の方の内マイカートで参加する場合:4000 円

○エントリー方法

●当日エントリーとし、コントロールタワー1Fで受付いたします。

※レンタルカートを希望の場合は台数に限りがある為、事前予約も可能です。

※4 台未満(3 台以下)の場合は基本的に不成立(中止)となります。

○レース内容

- 練習走行＆タイムトライアル(TT)：5分 計測で行います。(全車同時計測)

※この時間に走行できない場合は、当日のスポーツ走行、または、過去のタイムなどを参考にします。

※トラブル以外で故意に遅いタイムで走行した場合は、決勝ヒートでペナルティを受ける可能性があります。

- 決勝ヒート：タイムトライアル(TT)の結果より、個人毎にスタートハンディ、または、周回ハンディ、または、スタートハンディと周回ハンディの両方を適用し、ローリングスタートで10～15周(その日によって変わります)のレースを行います。

※ハンディは主催者が公平に決定します。

※スタート順は、周回ハンディとスタート位置ハンディを含め逆グリッド(TTの遅い順)になります。

- ペナルティ：決勝ヒートにて、タイムトライアル(TT)のベストタイムより0.500～0.999秒速いタイムで走行した周回については、決勝ヒートのトータルタイムに、1周回あたり2秒をプラスします。また、1.000秒以上速いタイムで走行した場合は、1周回あたり5秒をプラスします。

※上記タイムとハンディは、途中で変更になる場合があります。

※初参加の方で、このレースが初走行の方は、上記ペナルティを科さない場合があります。

○順位決定について

- 決勝ヒートの順位(結果)にペナルティを加味し総合順位を決定します。

○練習走行＆タイムトライアル

- 5分間のタイムアタック時間を設け、ベストラップを採用します。

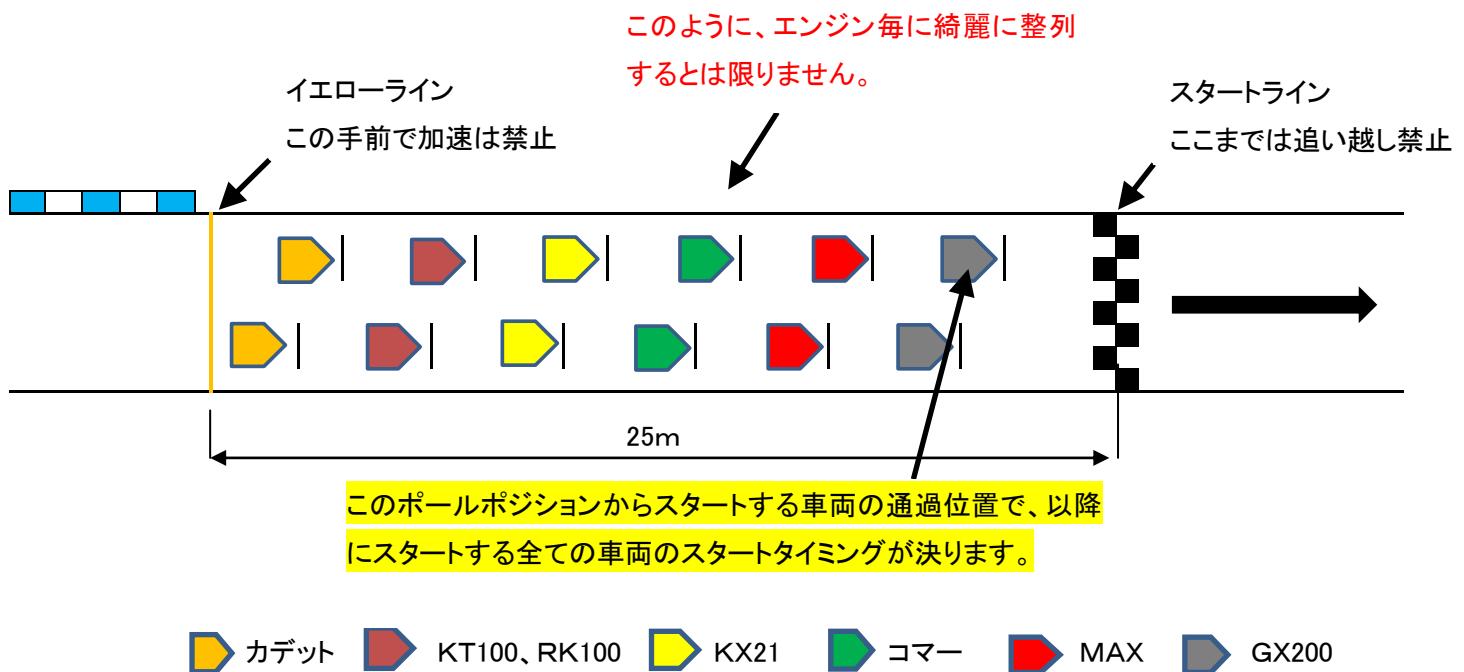
- タイムトライアルの成績は次の順序により決定されます。

ベストタイムによる順位(同タイムの場合はセカンドタイム→サードタイム…の順で採用します)

○決勝スタート方式

- 1) 決勝スタートは、タイムトライアル(TT)の結果からハンディを算出し、基本的には逆グリッドで、車両ごとに間隔を空けてローリングスタートで行います。(周回ハンディがある方もいます。)
- 2) 全車スタートグリッドに着いた時点で選手紹介をし、その後、セル付きエンジン→押し掛けの順でエンジンを始動し、ローリング開始となります。
- 3) ローリングに遅れた場合、隊列復帰ライン(ADVANの看板)までであれば、自分のポジションに戻れるものとします。ただし、トラブルなどで隊列から大きく遅れてしまい、白地に赤×印ボードが出された場合、隊列の最後尾に着かなければなりません。
- 4) ローリング中に停止した場合は、全車が通過するまでは再スタートしてはいけません。再スタート後、隊列の最後尾に着き、自分のグリッドには戻れません。
- 5) スタートラインから25m手前に引いてあるイエローラインを自分のカートが通過するまでは、加速を禁止します。また、スタートラインまではグリッドポジションの変更や追い越し禁止です。
- 6) ローリング開始後、赤信号が点灯され、隊列が整い次第、赤信号を消灯し、スタートとなります。ローリングを更に1周行う場合は、ミスタート旗(緑に黄色の山形)が振られ赤信号は点灯されたままになります。
- 7) 規定周回数終了時のトップからチェックマークが振られレース終了となります。
- 8) 最終結果は、決勝ヒートの順位(結果)にペナルティを加味し総合順位を決定します。

●スタートグリッド(一例)



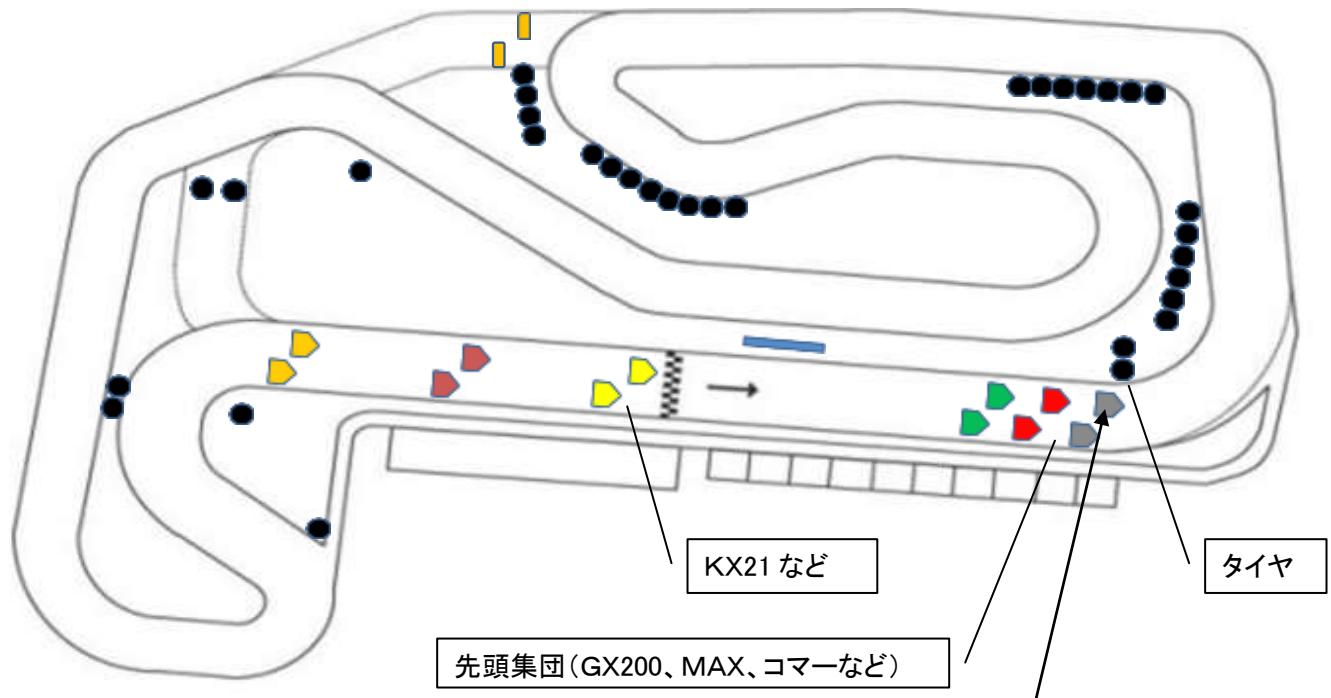
※上記のグリッド例はあくまでも一例で、エンジン毎に集合しない場合もあります。

※上記のエンジン以外でも参加は可能です。

●ローリングスタートの説明図－1(一例)

1)最初にGX200、MAX、コマーの先頭集団がスタートします。

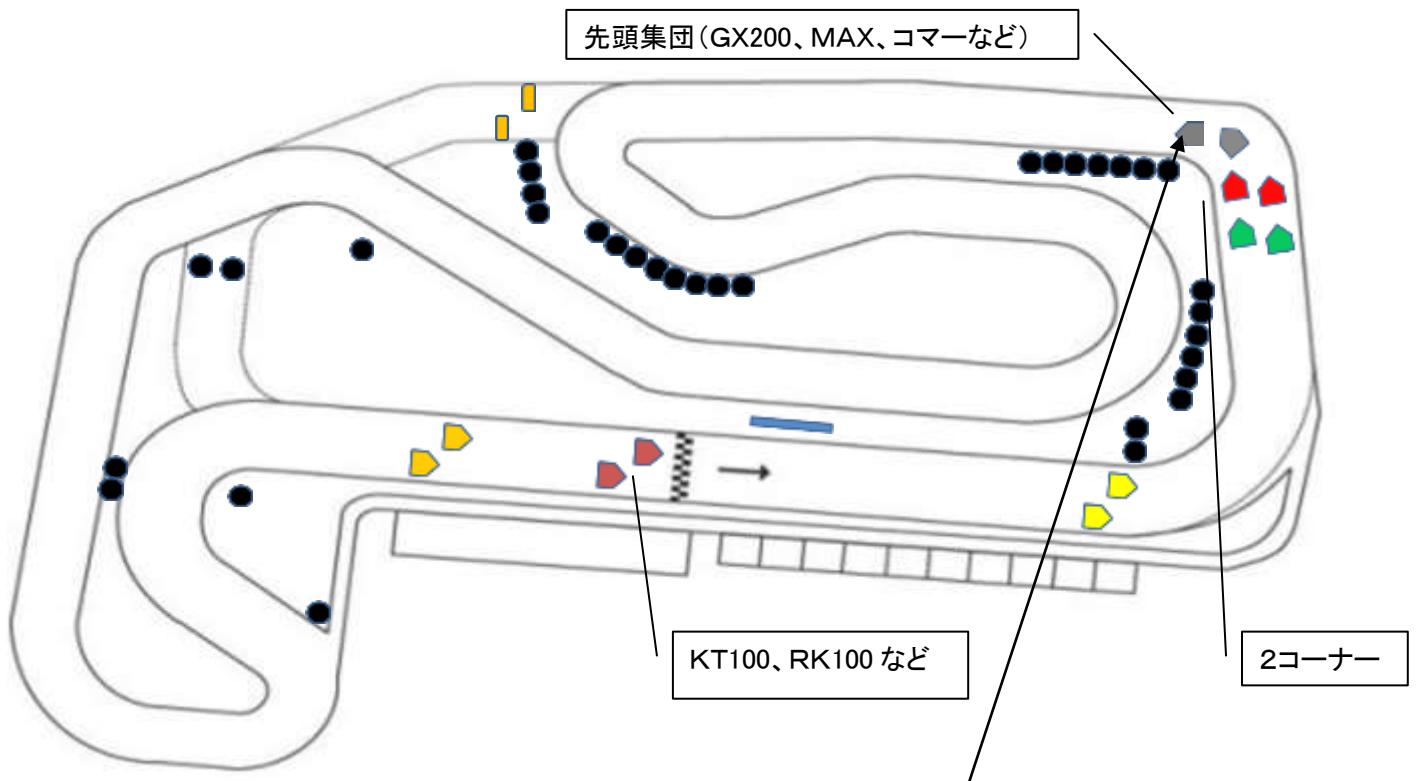
2)KX21などの車両は、先頭集団(1台の場合あり)のポールスタート車両が、1コーナー内側のタイヤを通過後にスタートを切れるものとします。



このポールポからスタートした車両を後続車が抜いて行ったとしても、スタート基準はこの車両になる。

●ローリングスタートの説明図－2(一例)

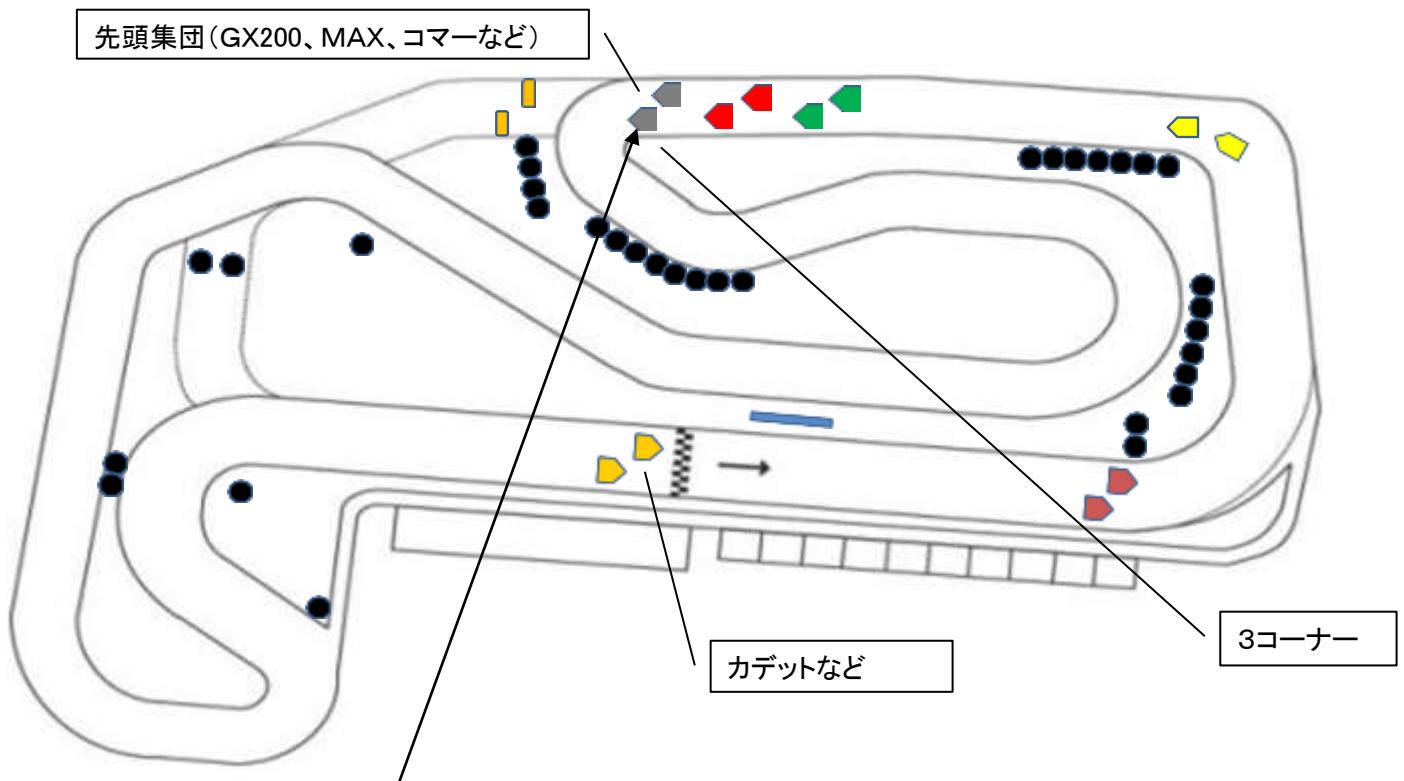
1)KT100、RK100などの車両は、先頭集団(1台の場合あり)のポールスタート車両が、2コーナー内側のタイヤに差し掛かった時にスタートを切れるものとします。



このポールポからスタートした車両を後続車が抜いて行ったとしても、スタート基準はこの車両になる。

●ローリングスタートの説明図－3(一例)

- 1) カデットなどの車両は、先頭集団(1台の場合あり)のポールスタート車両が、3コーナーに差し掛かった時にスタートを切れるものとします。



このポールポからスタートした車両を後続車が抜いて行ったとしても、スタート基準はこの車両になる。

●スタートに使用する信号機について



このホームストレートエンドにある信号、
または、フラッグでスタート合図を行います。

○表彰

全体1位のドライバーに副賞(粗品)を贈呈いたします。

○上記以外のルール(旗の意味、車両規則、注意事項等)については省略しておりますので、別途 **2020 IMP Kart Race 特別規則書**でご確認下さい。

皆さんのエントリーお待ちしています。

レーシングコース 黒崎